科目区分	専門分野	単位数・時間数	単位 1・ 時間 30	開講時期	1 学年後期
授業科目名	基礎看護学技術Ⅰ看護過程			授業形態	講義・GW
担当教員	村田節子		実務経験	○ (看護師)	
授業概要	看護実践に必要な看護過程の基本的事項や、構成要素について学ぶ。看護過程の意義や目的を理解し、健康障害を持つ対象の紙上事例を通して、アセスメント・診断・計画・実施・評価の展開方法について学ぶ。				
学習目的	看護過程を用いた看護の展開の実際について学ぶ				
到達目標	1. 看護過程を構成する要素とそのプロセス、また看護過程を用いることの意義を理解する。 2. 実際の事例をもとに、問題解決過程やクリティカルシンキング、リフレクション、倫理的判断といった看護過程の基礎となる考え方について学ぶ。 3. アセスメント、看護問題の明確化、計画立案、実施、評価といった看護過程の各段階について、その基本的な考え方と実際を学ぶ。				
授業内容	1・2 看護過程とは ゴードンの枠組み 3・4 アセスメント①アセスメントの枠組みから対象の全体像を捉える 健康知覚－健康管理パターン・栄養－代謝パターン・排泄パターン 5・6 アセスメント①アセスメントの枠組みから対象の全体像を捉える 活動－運動パターン・睡眠休息パターン・認知－知覚パターン 7・8 アセスメント①アセスメントの枠組みから対象の全体像を捉える 自己知覚－自己概念パターン・役割－関係パターン・セクシュアリティ－生殖パターン 9.10 アセスメント①アセスメントの枠組みから対象の全体像を捉える コーピング－ストレス耐性パターン・価値－信念パターン 11・12 アセスメント② (情報の収集と分析) 13・14 紙上事例 対象の状況をアセスメント (個人及びグループワーク) 15・16 看護診断の種類と問題の明確化 17・18 看護計画立案 19・20 紙上事例 対象の状況の看護診断 (個人及びグループワーク) 21・22 紙上事例 対象の状況の看護診断から看護計画を立案する (個人及びグループワーク) 23・24 グループ発表 看護診断、看護計画 25・26 グループ発表 看護診断、看護計画 27.28. 看護計画の実施と評価 29.30. 看護記録				
評価方法	筆記試験(80%)、レポート課題(20%)、授業中の参加姿勢等で総合的に評価する。				
教科書	系統看護学講座 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ第18版 第3刷 医学書院 2024 看護診断ハンドブック 第11版 医学書院 ゴードンの帰納的健康パターンに基づく看護過程と看護診断第6版 ヌーベルヒロカワ 2019				
参考図書 等					
備考					

科目区分	専門分野	単位数・時間数	単位 1・時間 15	開講時期
授業科目名	基礎看護学技術II コミュニケーション技術			授業形態
担当教員	末武麻弥		実務経験	
授業概要	看護には人間対人間の相互作用のプロセスの中で人間関係を構築していくことが不可欠である。本科目では、コミュニケーションの意義や、人間関係を成立・発展させるために必要なコミュニケーションの知識について学ぶ。			
学習目的	コミュニケーションの意義や、人間関係を成立・発展させるため必要なコミュニケーションを学ぶ			
到達目標	1. コミュニケーションの特徴と、医療におけるコミュニケーションの重要性を理解する 2. コミュニケーションの構成要素と成立過程を理解し、ミスコミュニケーションを避ける方法を伝える方法を学ぶ。 3. コミュニケーションの基本的な方法について学び、それを実践する。			
授業内容	1・2 コミュニケーションの意義と目的 3・4 看護・医療におけるコミュニケーション 5・6 コミュニケーションの構成要素と成立過程 7・8 関係構築のためのコミュニケーションの基本 9・10 コミュニケーション障害への対応 11・12 プロセスレコード 13・14 GW 15 GW発表・評価 終講試験			
評価方法	筆記試験（80%） レポート課題（20%） 受講態度等で総合的に判断する			
教科書	系統看護学講座 基礎看護学2 基礎看護技術I 第19版 第2刷 医学書院2025			
参考図書 等				
備考				

1 学年後期

講義・演習

：

ジョンについて学

る。

け、適切なメッ

専門課程シラバス

科目区分	専門分野	単位数・時間数	30時間	開講時期
授業科目名	基礎看護技術Ⅲ フィジカルアセスメント			授業形態
担当教員	武森勢津子		実務経験	
授業概要	対象の健康状態を把握し、様々な健康レベルにある人に適切な看護を行うため、対象の目的かつ、正確に把握する。フィジカルアセスメントの基礎的知識と技術を学び、得られケアに結びつけることができる。			
学習目的	対象の健康状態を把握し、様々な健康レベルにある人に適切な看護を行うため、対象の目的かつ、正確に把握する。フィジカルアセスメントの基礎的知識と技術を学び、得られケアに結びつけることができる。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各部位のフィジカルアセスメントの目的、方法、留意点について述べるができる ・事例患者をアセスメントし、その患者を評価することができる。 			
授業内容	1,2 ヘルスアセスメントの基本、フィジカルアセスメント 3,4 バイタルサインの観察とアセスメント 5,6 バイタルサインのアセスメント、眼・耳・鼻のフィジカルアセスメント 7,8 顔・口腔・咽頭のフィジカルアセスメント、頸部・喉頭・甲状腺・リンパ節の 9,10 乳房・腋窩（腋窩リンパ節）のフィジカルアセスメント、心臓・血管のフィジ 11,12 筋・骨格系のフィジカルアセスメント、神経系（反射・感覚）・小脳のフィジ 13,14 認知機能のアセスメント、メンタルステイタスアセスメント 15 まとめ			
評価方法	試験、演習			
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ第18版 第2刷 医学書院 2024 実践するヘルスアセスメント 初版 第6刷 学研 2021			
参考図書 等				
備考				

1学年・前期

講義・演習

身体状態を客観
した情報を実際の

身体状態を客観
した情報を実際の

。

フィジカルアセス
メント
メント
メント

科目区分	専門課程	単位数・時間数	単位 1	時間 3	開講時期
授業科目名	基礎看護学概論				授業形態
担当教員	西村 容子			実務経験	
授業概要	看護の歴史を通して看護の主要概念・理論を捉え、看護の本質、役割、機能を学ぶ。まし、看護倫理に基づいた専門職業人としての責任と役割を認識する。				
学習目的	この科目の目的は、看護学とは何か、看護の姿を様々な観点から概要し、看護学に必要な態度を理解することである。				
到達目標	1. 人間学としての看護学を理解する。 2. 看護の機能と役割を理解する。 3. 看護における法と倫理を理解する。				
授業内容	1・2 看護を学ぶにあたって 3・4 看護とは 看護の変遷 看護の定義 5・6 看護とは 看護の役割と機能 看護ケア 看護実践とその質保証に必要な要件 7・8 看護とは 看護の継続性と情報共有 9・10 看護の対象と理解 「こころ」と「からだ」を知るこのの意味 11・12 看護の対象の理解 生涯発達しつづける存在としての人の理解 13・14 国民の健康状態と生活 健康のとらえかた 15・16 国民の健康状態と生活 健康のとらえかた 17・18 国民の健康状態と生活 国民の健康状態 国民のライフサイクル 19・20 業としての看護、看護職の資格、看護職の継続教育とキャリア開発 21・22 看護における倫理 23・24 護理論とは、看護における諸理論 25・26 看護理論とは、看護における諸理論 27・28 看護における諸理論の活用の実際 29・30 看護にかかわる定義および綱領				
評価方法	筆記試験(70%)、レポート提出状況・内容 (30%) で総合的に評価する。				
教科書	系統看護学講座 基礎看護学 1 看護学概論 第17版第4刷 医学書 2024				
参考図書 等					
備考					

科目区分		単位数・時間数	単位	時間	開講時期
授業科目名					授業形態
担当教員				実務経験	
授業概要					
学習目的					
到達目標					
授業内容					
評価方法					
教科書					
参考図書 等					
備考					

科目区分	専門分野	単位数・時間数	単位 1・ 時間 30	開講時期
授業科目名	基礎看護学技術Ⅳ 共通基本技術			授業形態
担当教員			実務経験	
授業概要	看護場面に共通する基本技術の知識を基に、演習を交えながら観察、人間関係、安全・安楽			
学習目的	看護場面に共通する基本技術の知識を基に、演習を交えながら観察、人間関係、安全・える			
到達目標	1. 看護技術を支える要素を理解し、原理・原則に沿った看護技術ができる。 2. 環境整備の定義を理解し、安全・安楽な環境を整える援助技術を身に付ける。 3. 看護における感染・安全についての意義を理解し、感染予防の技術を身につける			
授業内容	1、2 環境調整の看護技術 3、4 バイタルサイン 5、6 バイタルサイン 演習 7、8 感染防止 9、10 ガウンテクニック、清潔操作 演習 終講試験			
評価方法	筆記試験、授業態度で総合的に評価する			
教科書	専門分野 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護Ⅱ 第18版 第2刷 医学書院 2024 看護技術 プラクティス第4版 学研 2019			
参考図書 等				
備考				

1 学年前期

講義・演習・
DVD視聴

について考える

安楽について考

。